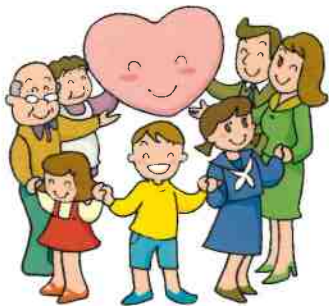


支え合いの心で、もっと笑顔のまちになる！

馬場自治会 福祉座談会



令和1年11月7日(木)
午後3時～
馬場公民館



主催：南九州市社会福祉協議会
馬場自治会

馬場自治会 福祉座談会

1 趣 旨

『地域生活支援ネットワーク事業』に基づき、高齢者や障害者等といった支援の必要な人々が、地域において「その人らしく、心豊かな生活」を続けていくことが出来るよう総合的な支え合いの体制づくりを図る。

2 実施機関 主催：社会福祉法人南九州市社会福祉協議会 馬場自治会

3 日 時 令和1年11月7日（木） 午後3時00分～

4 会 場 馬場自治公民館

5 参 加 者 自治公民館長、自治会長及び自治会役員、在宅福祉アドバイザー、老人クラブ、地域住民の方々等、社協・福祉課職員 他

6 事業内容

（1）高齢者サロン（集い）関係

- ① ふれあい・いきいきサロンの普及・活性化
- ② サロンの新たなプログラムや課題対応策の提案
- ③ 日常の見守りや閉じこもりの防止
- ④ 振込め詐欺や訪問販売（悪質）等への被害防止

（2）生活支援関係

- ① 高齢者等暮らし安心ネットワーク活動を基礎とした要支援高齢者等の再確認
- ② 住民座談会による課題確認や住民の意識づけ
- ③ 地域支え合いマップの作成による要援護者や社会資源の確認と役割確認
- ④ 地域生活応援員の養成
- ⑤ 日常活動及び災害時での支援の内容確認・共有化
- ⑥ 地域での避難経路や危険個所等の確認・共有化

7 日 程

(1) 開 会

(2) 主催者あいさつ

(3) 職員紹介

(4) 日程説明

(5) 福祉座談会、地域の概要説明（人口・世帯数・高齢化率 等）

(6) グループ意見交換会

① 意見交換の進め方説明

② 3つのテーマに沿った意見交換

（参加自身の意見に限らず地域の方々の意見でも構わない）

ア 住んでいる地域の良いこと（ところ）

イ 住んでいる地域で困っていること（ところ）

ウ 私たちにできること、して欲しいこと

エ その他（危険箇所、要望 等）

【お願い：様々な意見を決して否定しない】

③ 「安全マップ（気を付ける場所）」作成

地域の気を付ける場所についての意見交換

気を付ける場所を地図に記入

④ 「安心（支え合い）マップづくりについて」作成

地域の要支援者等の再確認

要支援者等の日常行動や近隣との関係について地図への記入

☆ 途中時間に応じて、休憩

(7) 全体会

グループ意見交換会のまとめを報告・説明

(8) 今後の予定について

(9) 閉 会

8 お問い合わせ先

社会福祉法人南九州市社会福祉協議会

〒897-0302 南九州市知覧町郡17848番地

TEL0993-83-3961 FAX0993-83-3962

馬場自治会 概要説明

馬場自治会は、勝目地区の下之口区（下之口・田畑・馬場）に属しています。
大谷川の右岸に位置し、有木・麓・大山自治会、高田地区に接した水田地帯です。
県道29号（石垣加世田線）の道路改修・花元橋（けもとばし）架け替えのため、
公民館が移転・新築されました。

花見、ふれあいサロン「ジジ・ババ会」を開催して交流を図っています。
3年ほどかかった工事も終わり、両側に歩道がつき、安心して渡れます。
高齢化で作業のできる人が減り、堤防払い、道路愛護、荒れ地の草払いに苦労して
いますが、お互いに協力して地域の活性化を図っています。



新公民館



竹屋神社

1 世帯数・人口・高齢化率

令和1年9月30日現在

	自治会	世帯	人口			高齢者数(65歳～)			高齢化率	高齢者のみ 世帯数	一人暮らし 高齢者
			男	女	計	男	女	計			
1	下之口	53	51	52	103	19	29	48	46.6 %	22	12
2	田畑	62	71	78	149	15	28	43	28.8 %	19	10
3	馬場	19	15	19	34	4	13	17	50.0 %	8	6
勝目地区		1,025	1,003	1,158	2,161	397	959	1,356	44.3 %	376	196
川辺町		5,872	5,782	6,713	12,495	1,998	4,853	6,851	38.8 %	1,931	1,038
知覧町		5,395	5,208	5,873	11,081	1,788	4,238	6,026	38.2 %	2,176	1,333
頴娃町		5,460	5,280	6,036	11,316	1,857	4,466	6,323	39.4 %	1,663	913
南九州市		16,727	16,270	18,622	34,892	5,643	13,557	19,200	38.8 %	5,770	3,284

2 下之口区の教育・福祉関係

馬場

①小学校児童数	10名	（勝目小全児童 66名中）	0
②中学校生徒数	12名	（川辺中全生徒312名中）	2
③民生児童委員	1名		0
④在宅福祉アドバイザー	3名		1
⑤保健推進員	1名		0
⑥消防団員	7名		0
⑦ふれあいいいきサロン	3団体		1

1 『社会福祉協議会』とは？

(1) 社会福祉法による規定

第109条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の二以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を営する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあつては・・・・・・指定都市以外の市及び町村にあつてはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を営する者の過半数が参加するものとする。

1

住民の住民による住民の

ための『地域福祉活動』を

行う民間団体



2

福祉座談会

趣 旨

高齢者や障害者等といった支援の必要な人々が、地域において「その人らしく、心豊かな生活」を続けられるよう総合的な支え合いの体制づくりを図る。

- ◎ 「ふれあい・いきいきサロン」活動の普及・活性化
- ◎ 福祉座談会の開催による地域のニーズ把握
- ◎ 安全マップ・安心（支え合い）マップの作製によって、見えてくる地域の福祉問題の解決に向けた取り組み
- ◎ ひまわり応援員・にじボラ（地域生活応援員）の養成から支援活動の実施
- ◎ 福祉座談会を開催した地域においては、随時継続的な支援

3

	南九州市	合計	22年度	23年度		24年度		25年度	26年度			27年度		
			松ヶ浦校区	宮脇地区	神殿校区	水成川3自治会	松山校区	栗ヶ窪地区	手養自治会	中郡町自治会	上山田中福良自治会	上別府自治会	田部田地区	野間地区
自治会数	249	72	7	12	4	3	8	9	1	1	1	1	9	3
人 口 (人)	34,829	11,618	1,178	2,198	322	557	1,706	1,295	133	481	259	231	1,735	358
世帯数 (戸)	16,727	4,999	579	913	175	266	607	486	62	225	107	105	744	169
高齢化率 (%)	38.8	35.8 (平均)	44.1	27.7	50.6	35.0	32.7	34.3	35.3	33.9	26.2	43.3	29.6	46.6

	28年度		29年度	30年度	1年度
	古殿地区	清水地区	下山田 西地区	松 崎 自治会	馬 場 自治会
自治会数	2	4	5	1	1
人 口(人)	285	248	378	220	34
世帯数(戸)	138	124	175	105	19
高齢化率 (%)	43.5	42.7	41.3	50.0	50.0



4

1 福祉座談会「地域住民の意識・認識確認」

1. 事業、地域の概要説明
2. グループ意見交換会
 - (1) 住んでいる地域の良いこと（ところ）
 - (2) 住んでいる地域で困っていること（ところ）
 - (3) 私たちにできること、して欲しいこと
 - (4) その他（要望 等）



目的1

住んでいる地域のことをもう一度見つめなおし、知る機会とする。

目的2

地域の支え合いで可能なこと、不可能なことを確認し合い、地域が持っている「**地域力**」の活性化（再構築）を図る。

2 福祉座談会「安全マップの作成」



1. 地域の中で、気を付ける場所についての意見交換
 - (1) 地域の中で気を付ける場所についての話し合い
 - (2) 気を付ける場所を地図に記入

目的・効果1

災害時に要援護者、高齢者等の安心・安全な避難につながる。

目的・効果2

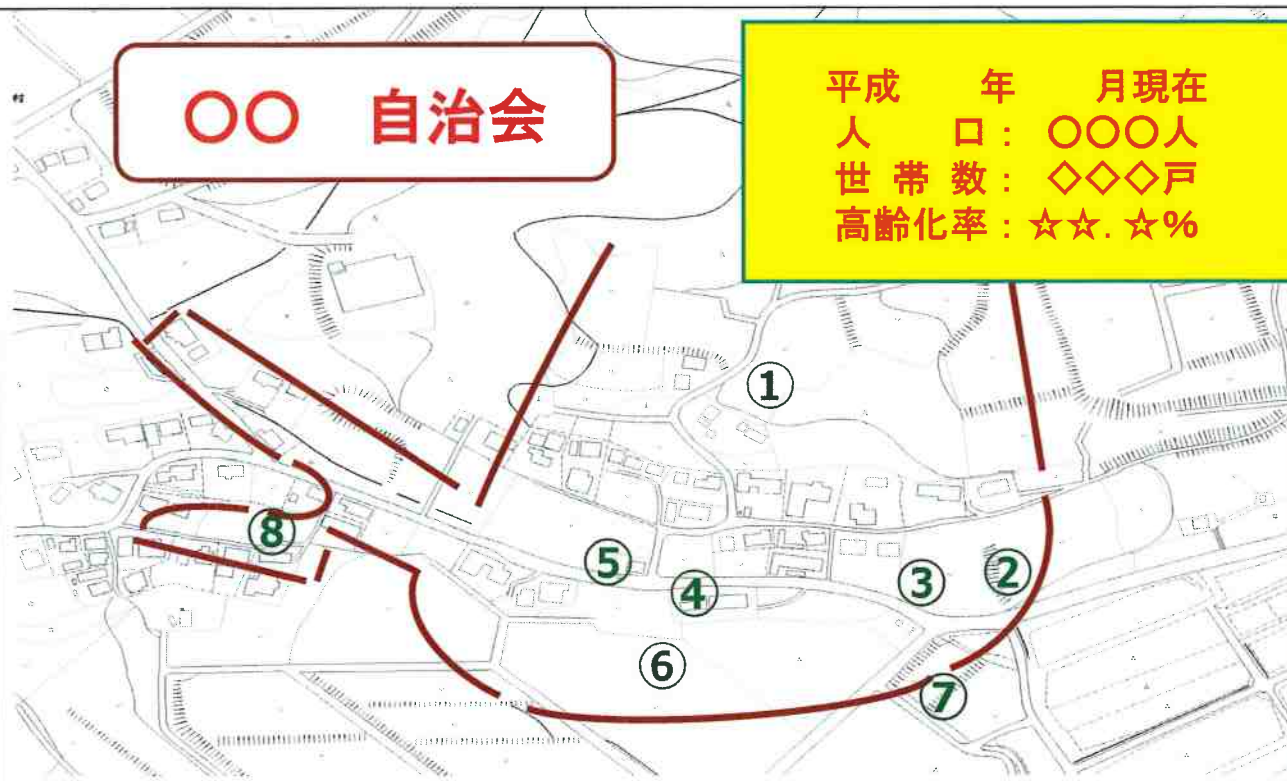
支援者も安心・安全に避難・誘導の援助ができるよう、普段は気づかない地域の気を付ける場所について考え、共通認識を持つ。

安全マップ



〇〇 自治会

平成 年 月現在
人 口：〇〇〇人
世 帯 数：◇◇◇戸
高齢化率：☆☆. ☆%



7

安全マップ【写真】抜粋



8

3 福祉座談会「安心(支え合い)マップの作成」

1. 安心(支え合い)マップの作成

- (1) 地域の中で、支援の必要な方の再確認
- (2) 支援の必要な方の日常行動や近隣との関係について地図への記入



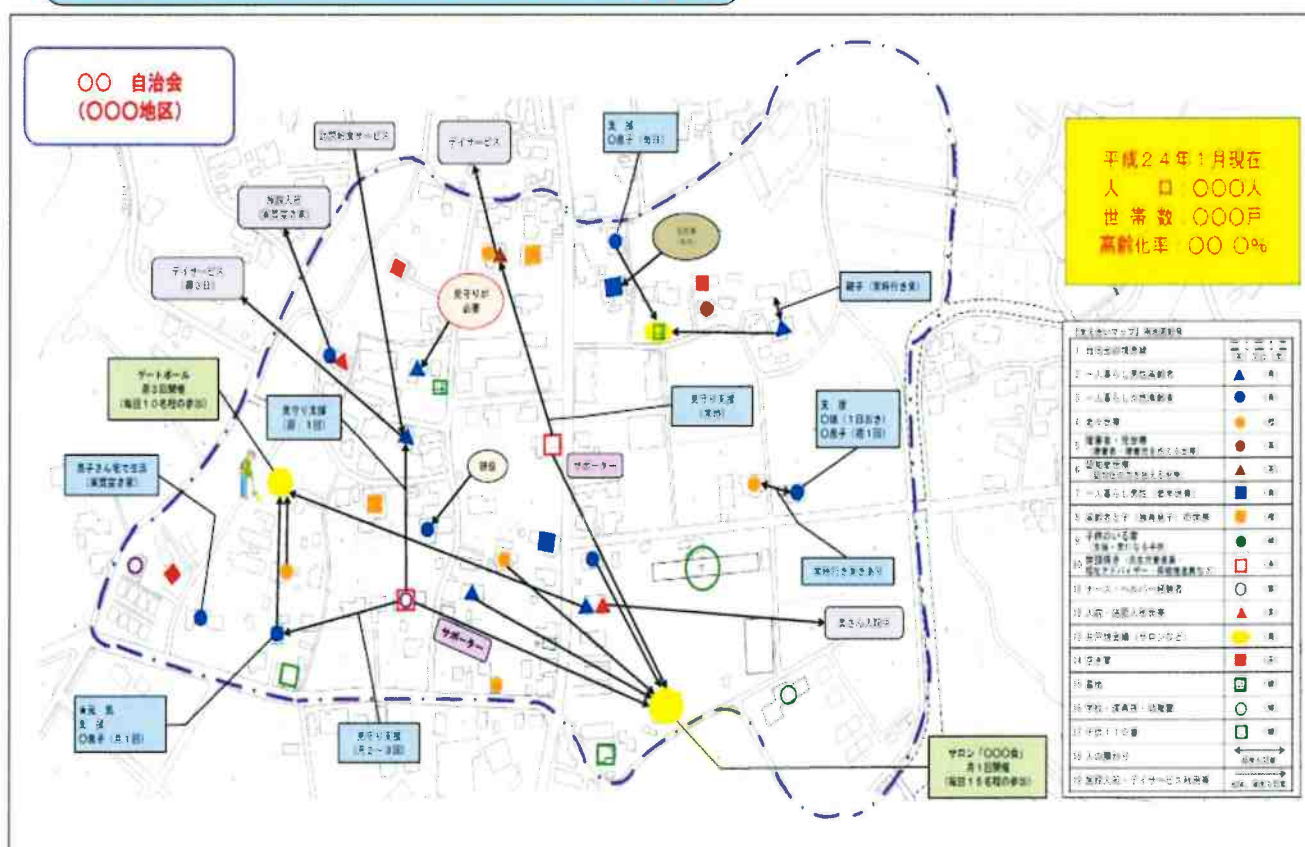
※ 昭和28年 31世帯121人

目的
・
効果

要援護者がどのように地域でふれあい、周りが支え合っているのかをきちんと把握・再認識できる「安心(支え合い)マップ」を実際に自分たちの手で作ることによって、地域の中で互いに支えあう「住民主体の助け合い」のしくみを見つめ直し、今後の活動についても目に見える形で進めることが可能となる。

9

安心「支え合い」マップ



10

4 福祉座談会「まとめ・今後の展開」

1. 福祉座談会を経て、見えてきた地域の実情及び今後の取り組みについての意見交換

【マップを用いて】

- (1) 座談会の感想
- (2) 自治会においての座談会以降の取り組み、今後の取り組みについて



目的
・
効果

1, 2, 3の福祉座談会をとおして自らの地域、地域の中で互いに支えあう「住民主体の助け合い」のしくみを見つめ直すことによって、一層住民主体の活動としての気運が高まる。

資料: 住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏 著書

新しい「おつき合い」のすすめ

- (1) 思い切って「夫が認知症」などと打ち明けましょう。
- (2) 困った時は、まわりの人に助けを求めましょう。
- (3) 気になる人の情報は、ご近所で共有しましょう。
- (4) 困っている人には、お節介と言われても関わっていきましょう。
- (5) 引きこもりの人のプライバシーを守るより、いのちを救うことを優先しましょう。
- (6) 隣人・友人とは、互いに迷惑をかけ合える関係になりましょう。